



ALWAYS IN ADVANCE OF TIMES,
DAIDO CORPORATION HAS
STEADILY GROWN BY PROVIDING
SUPERIOR PRODUCTS AND SERVICE.

Technical Service Data Sheet

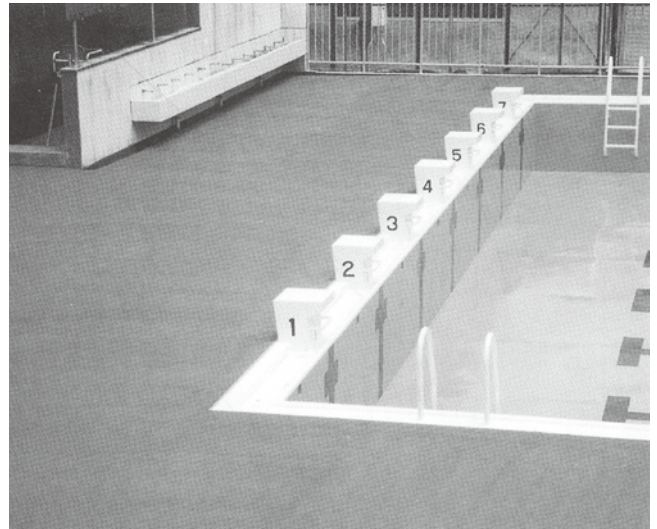
ユカクリート ターフ

薄膜溶剤2液柔軟型アクリルウレタン樹脂系塗床材

非鉛・クロム



ユカクリート ターフは、ウレタン樹脂の特色を活かし、吹付工法で芝目のフィーリングを表現した弾性防滑塗床材です。特に、厚膜工法がもたらす適度のクッション性は、快適な歩行感を生み出すと共に環境安全の向上に役立ちます。



特 長

1. ホルムアルデヒドの放散量が少なく、日本塗料工業会の認定を受けています。 日塗工登録番号 D01178
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆(規制対象外)
2. ウレタンチップのターフ弾性骨材やエストップ#60による防滑仕上げで、滑りにくく安全です。
3. ソフトで快適な歩行感が得られます。
4. 塗り工法ですから、複雑な形状の床にも、シームレス（継ぎ目なし）に仕上がります。
5. 接着力が強く、しかも耐摩耗性にすぐれています。
6. 色彩があざやかで、環境にマッチした色が選択できます。

用 途

- プールサイド、ベランダ、展示場、屋上、スポーツ施設、幼稚園、保育所など

SINCE 1932.

DAIDO CORPORATION®

Technical Service Data Sheet

ALWAYS IN ADVANCE OF TIMES, DAIDO CORPORATION HAS
STEADILY GROWN BY PROVIDING SUPERIOR PRODUCTS
AND SERVICE.

ユカクリート ターフ

薄膜溶剤2液柔軟型アクリルウレタン樹脂系塗床材

標準塗装仕様

■厚膜工法[TF-2]防滑仕上げ（標準膜厚 約2.5mm）

工 程	品 名	内 容	塗 付 量 (kg/m ²)	塗 装 間 隔 (23℃)
1 下 地		下地コンクリート及びモルタルは金ゴテ仕上げで、十分に強度のあるものとします。 通常、モルタルは打設後2週間以上、コンクリートは4週間以上の養生が必要です。		
2 下 地 処 理		1. 含水調査はポリエチレンフィルムを床面に敷き、周囲をテープで密封して翌日（16時間後）開封する手順で行い、床面が黒っぽく濡れたりフィルムに結露していないこととします。また、含水率は、デジタル式水分計で5%以下を目安とします。 2. 必ず全面をサンドペーパーがけ（P24～P40）により目荒しを行い、汚染物やレイタンスなどを除去します。 3. 油脂、グリース、タールなどは、シンナーか洗剤で除去します。 4. 必要に応じて、クラック、穴などを補修します。		
3 下 塗 (2回)	ユカクリート プライマーM セメント	プライマーMとセメントを2:1（質量比）で混合し、コテ、ヘラでしごき塗ります。	0.10～0.15/回 0.05～0.075/回	4時間以上 48時間以内
4 中 塗	ユカクリート ターフ中塗	主剤と硬化剤を1:2（質量比）で混合し、コテで流しのべます。	2.0	16時間以上※ 3日以内
5 上 塗	ユカクリート ターフ	主剤と硬化剤を3:1（質量比）で混合します。 ユカクリートシンナーUで20～30%（質量）希釈し、ターフ弾性骨材を10%（質量）加えて混合した後、モルタルガンで吹付けます。 ガンの口径は3～5mmが適当です。	0.32～0.41	軽歩行可能時間 24時間以上

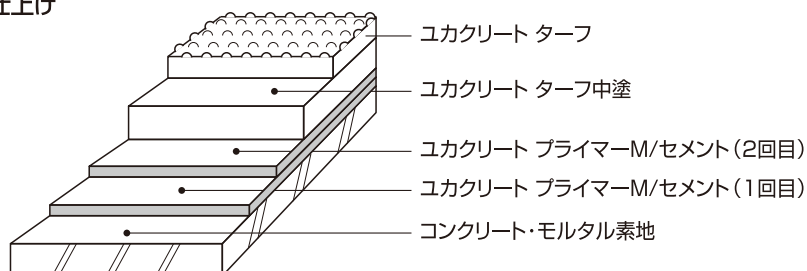
※気温が20℃以下では必要に応じて厚膜弾性ウレタン用硬化促進剤を添加して下さい。添加方法は硬化剤に厚膜弾性ウレタン用硬化促進剤を混合攪拌した後に主剤を混合して下さい。

施工上の注意

- デジタル式水分計は、（株）ケット科学研究所製造品を指しています。説明書に従って測定して下さい。
- 旧塗膜がエポキシ樹脂系又は溶剤型硬質ウレタン樹脂系の場合は、下塗にユカクリート塗替用プライマーをご使用下さい。
- 材料の攪拌は、必ず電動ミキサーを使用して下さい。
- 少量を使用する場合は、主剤をよく攪拌してから、主剤、硬化剤を秤で正確にはかって使用して下さい。
- 同一床面では休まずに一気に仕上げて下さい。休むと色の差や段差が出ることがあります。
- 施工中は、保護手袋を着用して下さい。塗料が皮膚に付着した時は、石鹸でよく洗って下さい。
- 上塗り塗装中は、骨材の沈降を防ぐためときどき攪拌して下さい。
- 希釈シンナーにより、ターフ弾性骨材が膨潤する恐れがあります。可使時間内で使い切ってください。
- 上塗りの吹付け塗装により塗料ミストが飛散しますので十分な周辺養生を心掛けて下さい。また、塗料ミストは風によって遠方へも飛散しますので十分注意して下さい。
- 硬化促進剤は2種類ございます。添加する塗料を十分にご確認の上で使用下さい。取扱いを誤りますと缶内でのゲル化や仕上がりが不良を引起こします。
- 下記のような場合、塗装は避けて下さい。
 - 降雪雨時、あるいは塗料の乾燥硬化前にその恐れのある時
 - 強風下、塵埃の多い時
 - 炎天下、下地表面の温度が高く、塗膜に泡を生じる恐れのある時
 - 気温5℃以下、または相対湿度80%以上の時



■厚膜工法[TF-2] 防滑仕上げ



吹付け塗装ができない場合はエストップ#60だけを専用の吹付け機で散布する下表のTF-3工法をご検討下さい。
下塗まではTF-2工法と同じで、中塗り以後は下表の工程になります。

TF-3工法

工 程	品 名	内 容	塗 付 量 (kg/m ²)	塗 装 間 隔 (23℃)
4 中 塗	ユカクリート ターフ中塗	主剤と硬化剤を1:2(質量比)で混合し、コテで流しのべます。	1.5	16時間以上 3日以内
5 接 着 剤 塗 付	ユカクリート ターフ中塗	主剤と硬化剤を1:2(質量比)で混合します。ユカクリートシンナーUで10~30%(質量)希釈し、はけ、ローラーで均一に塗装します。	0.20~0.30	直 後
6 骨 材 散 布	エストップ#60	接着剤塗布直後に、エストップ#60を専用吹付け機又はリシンガンで均一に吹付けます。	0.08~0.15	16時間以上 3日以内
7 骨 材 抑 え	ユカクリート ターフ中塗	主剤と硬化剤を1:2(質量比)で混合します。ユカクリートシンナーUで10~30%(質量)希釈し、はけ、ローラーで均一に塗装します。	0.40~0.50	16時間以上 3日以内
8 上 塗 1~2回	ユカクリート ターフ (弾性骨材抜き)	主剤と硬化剤を3:1(質量比)で混合します。ユカクリートシンナーUで30~40%(質量)希釈し、はけ、ローラーで均一に塗装します。	0.12~0.20	16時間以上 3日以内

※工程5 接着剤塗付は、厚くならないよう均一に塗付して下さい。

※詳細については各支店、営業所にお問い合わせ下さい。

※骨材散布にはコンプレッサーを使用します。

その他の注意

1. 塗料ミストの飛散により器物汚損などの事故を引き起こすことがありますので、上塗り工程では十分な養生と共に風の向きと強さにご注意下さい。
2. ターフ表面は汚れが落ちにくくなります。必要に応じて高圧水洗や軟かいデッキブラシなどで洗浄しますと清浄な面が保たれます。
3. 施工に当たり現場固有の事象がある場合や塗料の性質・性能・塗装方法等についてご質問があるときは、事前にお問い合わせ下さい。
4. ターフを塗り替える場合はユカクリート プライマーMをユカクリート シンナーUで100%希釈し、0.08~0.10kg/m²塗付して下さい。

可使時間と硬化時間

品 名	硬化促進剤の種類	添加量		10℃	20℃	30℃
ユカクリート ターフ中塗	厚膜弾性ウレタン用 硬化促進剤	なし	可使時間	30分	20分	10分
			硬化時間	48時間	24時間	16時間
		200g/セット	可使時間	20分	15分	不要
			硬化時間	24時間	16時間	
ユカクリート ターフ	ターフ硬化促進剤	なし	可使時間	2時間	1時間	30分
			硬化時間	36時間	24時間	6時間
		160g/セット	可使時間	30分	15分	不要
			硬化時間	2時間	1時間	

※1:硬化促進剤を添加した場合、可使時間が極端に短くなりますので取り扱いに注意してください。

※2:ターフ中塗とターフでは硬化促進剤の種類が異なりますので、間違わないようにしてください。

Technical Service Data Sheet

ALWAYS IN ADVANCE OF TIMES, DAIDO CORPORATION HAS
STEADILY GROWN BY PROVIDING SUPERIOR PRODUCTS
AND SERVICE.

ユカクリート ターフ

薄膜溶剤2液柔軟型アクリルウレタン樹脂系塗床材



性能

項 目		結 果	試 験 方 法
引張強さ (MPa)		27.0	JIS K 6251
伸び率 (%)		115	JIS K 6251
引裂強さ (N/mm)		27.0	JIS K 6252
付着強さ (MPa)		2.9	建研式接着力試験器
すべり抵抗性 (BPN)	乾燥時	82	英国式 ポータブルスキッドレジスタンステスター
	湿潤時	61	
促進耐候性		異常なし	サンシャインウエザーメーター 1,000時間

※塗膜物性の試験結果は、実測値であり保証値ではありません。

容量と配合比

品 名		材 質	配合比(質量)		容 量			塗装面積 (m ² ／1缶)	ホルムアルデヒド放散等級 日塗工登録番号	
ユカクリート プライマーM		湿気硬化型ウレタン	1液		16kg			53～80／2回 (プライマーMのみ)	F☆☆☆☆ D01017	
ユカクリート ターフ中塗		厚膜型ウレタン	主 剤	1	18kgセット	主 剤	6kg	9 (TF-2工法の場合)	F☆☆☆☆ D01213	
			硬化剤	2		硬化剤	12kg			
TF-2 工法	ユカクリート ターフ	アクリルウレタン	主 剤	3	17.6kgセット	主 剤	12kg	43～55 (TF-2工法の場合)	F☆☆☆☆ D01178	
			硬化剤	1		硬化剤	4kg			
		ウレタンチップ [ターフ弾性骨材]	弾性骨材 0.4			弾性骨材	1.6kg			
TF-3 工法	ユカクリート ターフ (弾性骨材抜き)	アクリルウレタン	主 剤	3	16kgセット	主 剤	12kg	40～130 (TF-3工法の場合)	F☆☆☆☆ D01178	
			硬化剤	1		硬化剤	4kg			
	エストップ#60		ウレタンチップ	－		12kg (1.6kgはございません)			80～150 (TF-3工法の場合)	－

品 名	容 量
ユカクリート シンナーU	16L

品 名	容 量
ユカクリート ターフ硬化促進剤	160g
厚膜弾性ウレタン用硬化促進剤	200g

標準色

- ユカクリート ターフ No.10、18、21、27、28、29
 - ユカクリート ターフ中塗 No.22(近似色になります。)、クリーミーホワイト
- ※ユカクリート標準色見本帳をご参照下さい。



ISO 9001 (滋賀工場)

本 社	〒532-0032	大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号	TEL.06 (6308) 6288 FAX.06 (6308) 3618
東 京 支 店	〒135-0031	東京都江東区佐賀1丁目18番8号	TEL.03 (3642) 8431 FAX.03 (3643) 5560
名古屋支店	〒452-0962	愛知県清須市春日流77番地1	TEL.052 (409) 8711 FAX.052 (409) 8716
大阪支店	〒532-0032	大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号	TEL.06 (6308) 6281 FAX.06 (6308) 3512
福岡支店	〒812-0051	福岡市東区箱崎ふ頭5丁目8番18号	TEL.092 (641) 2025 FAX.092 (641) 4022
札幌営業所	〒061-3244	石狩市新港南3丁目704番地8	TEL.0133 (76) 6177 FAX.0133 (76) 6178
千葉営業所	〒270-1403	千葉県白井市河原子木戸場364番地13	TEL.047 (492) 1901 FAX.047 (492) 1903
神奈川営業所	〒252-0244	神奈川県相模原市中央区田名2507番地10	TEL.042 (764) 4835 FAX.042 (764) 4836
滋賀営業所	〒524-0051	滋賀県守山市三宅町561番地	TEL.077 (583) 2234 FAX.077 (583) 3964
姫路営業所	〒670-0074	兵庫県姫路市御立西6丁目1番35号	TEL.079 (299) 5959 FAX.079 (299) 5960
広島営業所	〒733-0833	広島市西区商工センター4丁目5番15号	TEL.082 (277) 6464 FAX.082 (277) 6461

本 社 工 場	〒532-0032	大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号	TEL.06 (6308) 6281 FAX.06 (6308) 3512
滋 賀 工 場	〒524-0051	滋賀県守山市三宅町561番地	TEL.077 (583) 2234 FAX.077 (583) 3964

ホームページアドレス <https://www.daido-toryo.co.jp>

製品の規格及び仕様は改良等のため
予告なく変更する場合があります。

50-1021
'25.5.38 版 2,000N